

自ら学び、創造する人材へ



成長を加速させるエンジニア研修ならジョブサポート

プロエンジニア育成コースのご紹介

目次

サービス概要	エンジニア研修における悩み
	ジョブサポートにできること
サービス特徴	業務実践型
	独自の研修カリキュラム
	理解度・進捗状況の可視化
	未経験者の教育ノウハウ
受講について	コースのご紹介
	研修体制（通学・オンライン）
	研修費用
	人材開発支援助成金(人材育成支援コース)
	FAQ

ジョブサポートは「Web開発のプロフェッショナルを育てる」 エンジニア研修会社です

近年、ますます難易度が上がっているエンジニア採用。

最近では、新卒だけではなく若手のエンジニア未経験者を広く採用し、
通年でエンジニアを育てていくケースが増えつつあります。

しかし未経験から採用すると面接時と違い
「PC操作から教育が必要」「挨拶から教えないといけない」「文章が読めない」人もいます。
そのため、配属後に先輩社員から「基礎からやり直し」「プロジェクト配属に困る」という
企業様も少なくありません。

ジョブサポートでは、配属先で活躍できる人材を育てることを念頭置き、
「技術力」「ヒューマンスキル」「心構え」三位一体型の教育をご用意。

配属後のことを考えた人材育成を行い、貴社のビジネス成長に役立てていただけます。

会社概要

自ら学び、創造する人材へ



社名	株式会社ジョブサポート
代表取締役	塚田 努
所在地	東京都千代田区飯田橋3-11-13飯田橋 i-MARK ANNEX8階 東京都文京区本郷3-43-16コア本郷ビル5階B室 ※通学研修は本郷三丁目オフィスで実施
資本金	7,000万
設立	1998年6月
事業内容	法人向けプロエンジニア育成事業(Java・フロントエンド) IT研修教材の企画・開発(Java・フロントエンド) 業務系アプリケーション企画・開発・運用保守 スマートフォン向けアプリケーション企画・開発・運用保守 有料職業紹介事業(有料職業紹介許可 13-ユ-303892)

サービス紹介

「技術力」「ヒューマンスキル」「心構え」を同時に身に付ける三位一体型のサービス
「個別指導」「グループワーク」を組み合わせた業務実践型の指導を行います



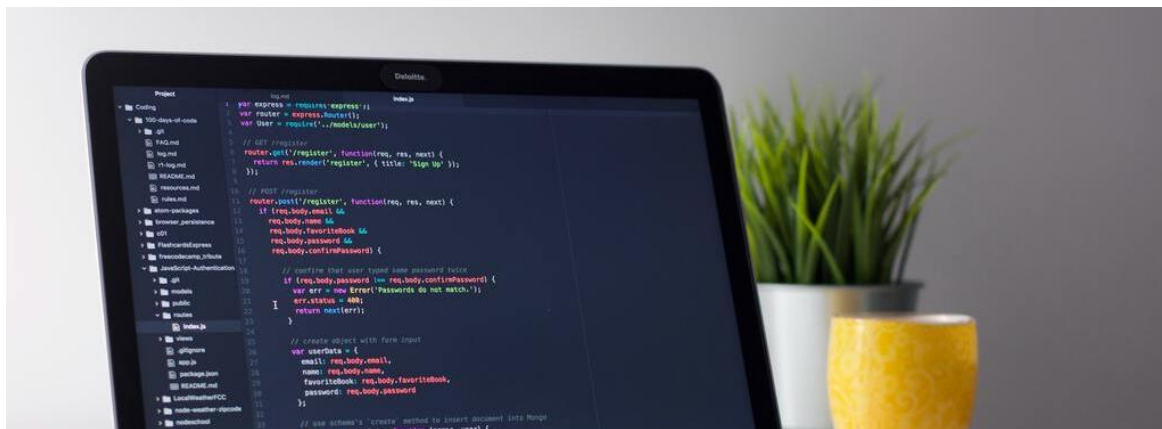
「問題解決力」を向上

講義・解説

30%

自学・演習

70%



自学形式で「考える力」を養う



「知りたい事」は自ら発見する

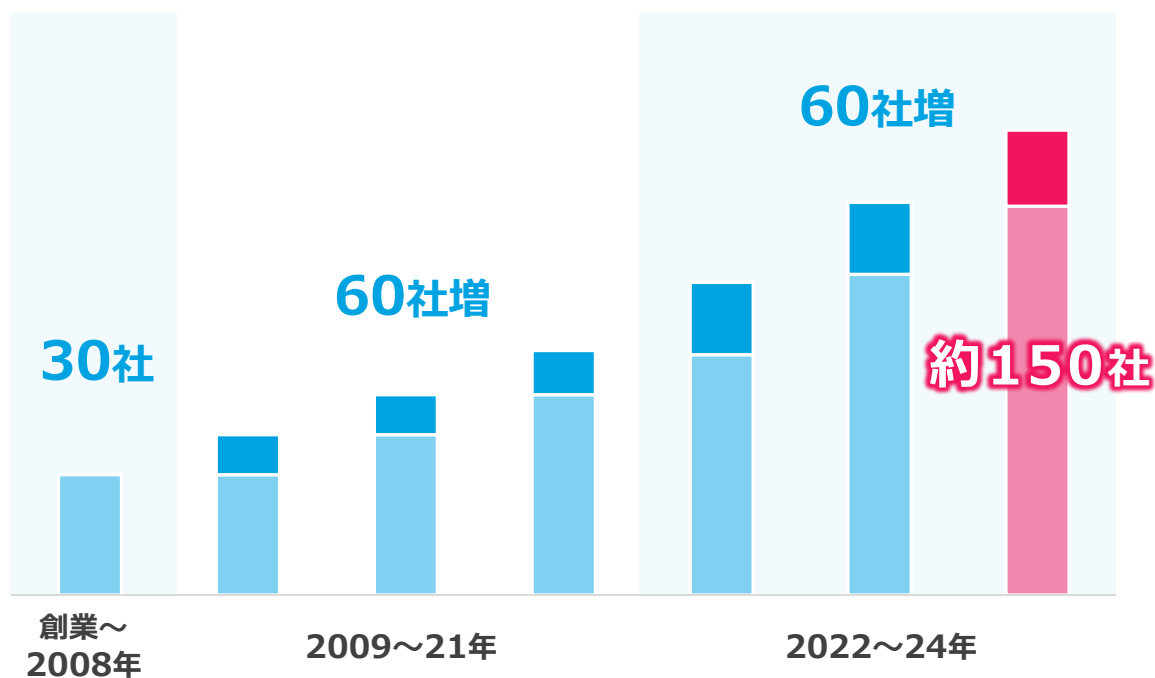


答えを教える

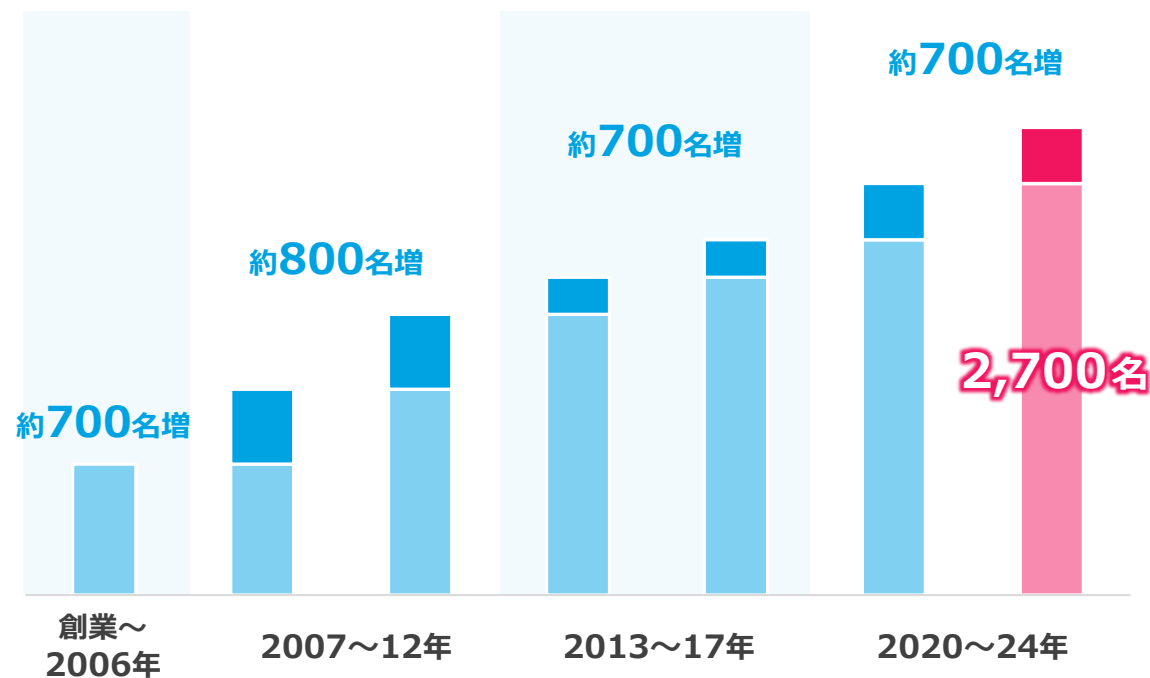
支援実績

中小企業だけでなく全国の手大メーカー、SIer、商社など大手市場企業、
独立行政法人など多くの業種からお問い合わせ・受講依頼をいただいています。

受講企業実績



受講者数実績



受講企業数約150社・受講者数約2,700名という多数の実績があります。

目次

サービス概要	エンジニア研修における悩み
	ジョブサポートにできること
サービス特徴	業務実践型
	独自の研修カリキュラム
	理解度・進捗状況の可視化
	未経験者の教育ノウハウ
受講について	コースのご紹介
	研修体制（通学・オンライン）
	研修費用
	人材開発支援助成金(人材育成支援コース)
	FAQ

近年のエンジニア研修における悩み

未経験や経験の浅い若手エンジニアを採用・教育して戦力化していく際、
このような課題をお持ちではありませんか。



受講者ごとに
IT知識の習熟度に差があり
配属先からの不満

技術研修が終わっても
基礎教育からやり直しが必要
開発案件に配属できず売上に影響



仕事に向き合う姿勢、
ヒューマンスキルの
指導ができない

指導が必要なのは分かるが、
パワハラだと思い、配属部署が
指導できてないorあきらめてる



人件費、物価高騰で
固定費を減らすために
外注or研修先を見直したい

今の研修会社の価格が高い、
内製で工数が膨らみ非効率
他社、外注も比較したい

ジョブサポートにできること

「現役エンジニア講師1名：受講者10名程度」を上限に設定することで手厚いサポート
全くの未経験者、経験の浅い若手レベルに合わせた指導で早期戦力化が期待できます。



業務実践型で受講者の
レベルに合わせた指導を行い
技術力を身に付ける



教育の難しい「心構え」
「ヒューマンスキル」を
直接指導して身に付ける



技術理解度、ヒューマンスキルの
習得状況が可視化できる
仕組み

聞く主体の座学を減らし「問題解決力」を身に付ける教育に強みがあります。
コードを書く機会を増やし、1～3ヶ月で実際の現場に配属できるレベルを目指します。

特徴 | 業務実践型

研修理解度の高い人には応用力、未経験者・理解力が低い人には基礎強化と、受講者のレベル合わせた適切な「個別指導」「グループワーク※講義含む」を実施します

実際の学習フロー（基礎知識）



この流れの中で同時に実施すること



研修内容に対しての
不明点の相談



課題の認識合わせ



研修内容の
期限調整・相談

どの段階、どう伝えたら相手に分かりやすく伝わるかなど、
仕事に近い環境で何度も経験・改善させることで
ビジネススキルが身に付きます。

特徴 | 「心構え」「ヒューマンスキル」教育

研修受講の心構えの観点で「報告・連絡・相談」といった社会人としての基礎、
周囲と連携し業務を進められるコミュニケーション能力を育む基礎研修プログラムがあります。

実際の学習フロー（ビジネススキル）



1日の研修スケジュール作成



チームで朝会



議事録作成



講師に提出



各自研修開始・課題提出



退勤前に日報作成

緊張感を持って仕事のイメージを身に付けられるよう、
課題の開始時には、1日の作業スケジュールを立てチーム内で共有

研修受講の「心構え」

※研修初日のオリエンテーション時に丁寧に解説します

納期意識を持つ

バッドニュース
ファースト

指摘は否定ではない

迅速に行動する

疑問を放置しない

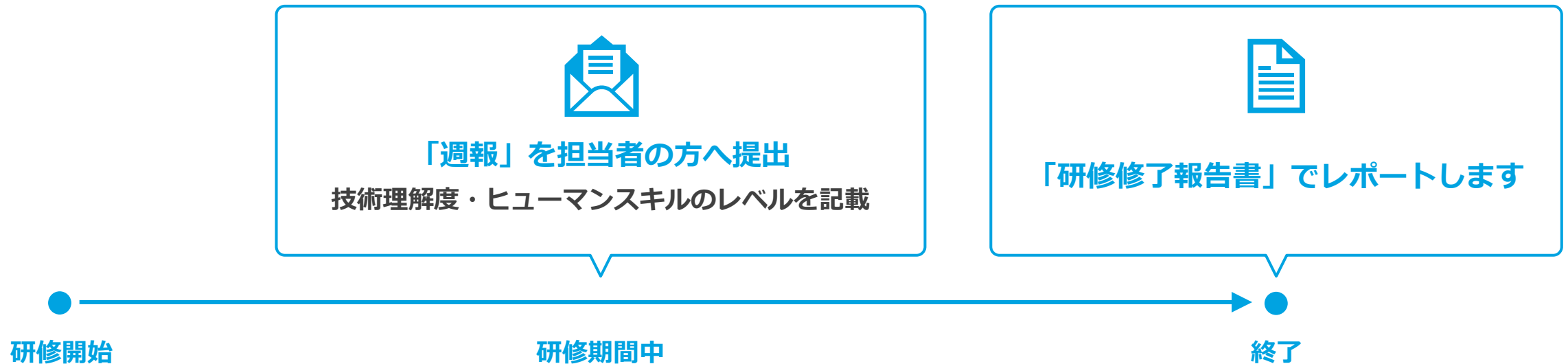
復習を徹底する

ジョブサポートのエンジニア研修は
中堅層・リーダークラスに必要な「心構え」の土台を早期育成します

特徴 | 理解度・進捗状況の可視化

受講者それぞれの状況、独自の癖を把握することで、個別のフォローがしやすくなります。
結果として、業務適性に応じた配属先の選定ができ、貴社の業務負担も減少します。

理解度や進捗状況が可視化できる仕組み作り



日報は受講者が貴社担当者に提出する運用としております。

進捗や理解度を確認しつつ受講者の状況に応じたサポートを行うことで、
より高い研修効果が期待できます。

その他特徴 | 通学・オンラインの選択が可能

研修コースは、通学・オンラインのどちらにも対応しております。
それぞれにメリット・デメリットがあるため、ご希望に応じてお選びください。



通学



初学者にとって不明点が聞きやすい
ビジネススキルを強化しやすい
他の受講者とコミュニケーションが取れる



通勤が必要
自社にいないため受講状況を把握しにくい



オンライン



自社or自宅で受講できる
自社であれば受講状況を把握しやすい
通勤の必要性がない

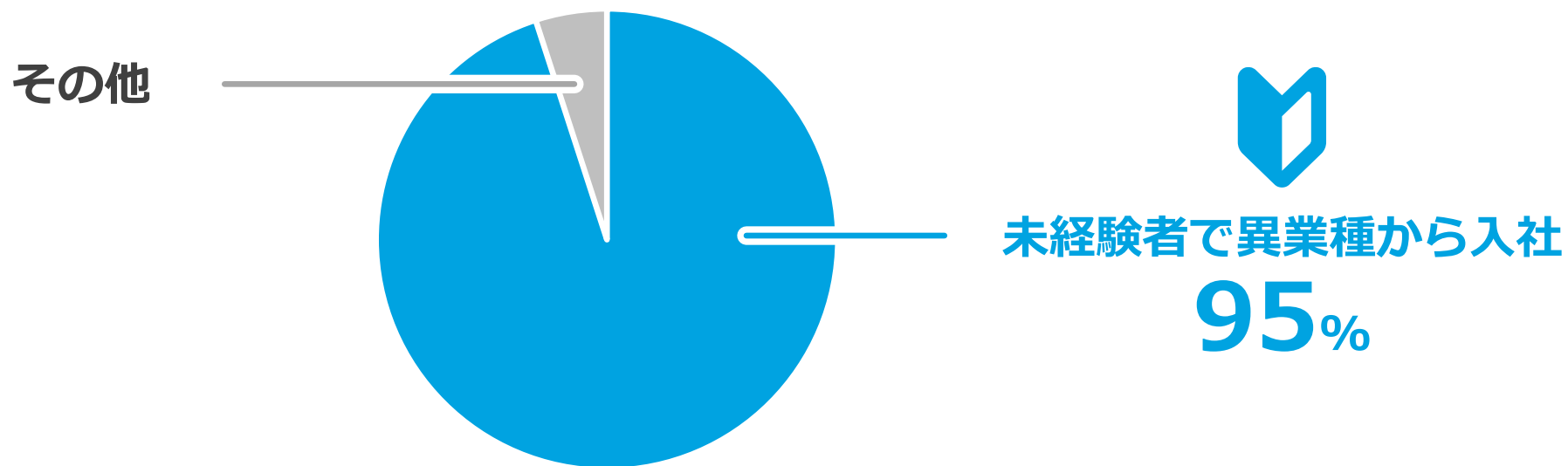


言語化ができないと質問が難しい
ビジネススキルを強化しにくい
人によってはサボる

その他特徴 | 未経験者の教育ノウハウ

未経験で入社後、研修を経て多数のエンジニアが現場に配属されています。
客先常駐スタイルの開発では技術面でのクレームを受けたことはありません。

ジョブサポートに入社したエンジニアの内訳



問題解決型の研修で「調べる力」が身に付くため、
変化の激しいWeb開発でもスキルチェンジが比較的スムーズにできています。

目次

サービス概要	エンジニア研修における悩み
	ジョブサポートにできること
サービス特徴	業務実践型
	独自の研修カリキュラム
	理解度・進捗状況の可視化
	未経験者の教育ノウハウ
受講について	コースのご紹介
	研修体制（通学・オンライン）
	研修費用
	人材開発支援助成金(人材育成支援コース)
	FAQ

通年開講プロエンジニア育成コース

|

Java1ヶ月コース一覧表

研修時間		9:00～18:00（休憩 12:00～13:00）	
		※貴社の勤務時間が1日8時間未満・上記以外の時間帯の場合、事前にご相談下さい	
課題	日程	課題目的	詳細
オリエンテーション、 アルゴリズム	2日 16H程度	アルゴリズムを学びプログラムの考え方を理解、 特定の問題を解く手順(アルゴリズム)を考える ことができる	アルゴリズム、変数と代入文、フローチャートの理解
Java基礎	7日 56H程度	Javaの基礎、プログラムの記述を学ぶ オブジェクト指向の特性を理解する	プログラムの基本、変数、四則演算、比較演算子、 論理演算子、型変換の理解 / 配列、制御文の使い方 / クラスやオブジェクトの考え方、コンストラクタ、 オーバーロード、クラスの継承、オーバーライド、 インターフェース、例外処理などの理解
SQL基礎	3日 24H程度	SQLの基礎、データベースの役割を理解する	データベースとは / SELECT文、INSERT文、 UPDATE文、DELETE文 / 表の結合、グループ、 副問い合わせ、クエリの結合
Java Webアプリケーション	7日 56H程度	Webアプリケーション、MVCモデルの仕組み理解、 APIドキュメントの読み方、使い方を学ぶ	よく使われるAPIの使い方 / JDBCの理解(データベースアクセス方法の理解) / Servletの理解、JSPの理解、HTML、JavaScriptの理解 / MVCモデルの理解

課題	日程	課題目的	詳細
オリエンテーション、 アルゴリズム	2日 16H程度	アルゴリズムを学びプログラムの考え方を理解、 特定の問題を解く手順(アルゴリズム)を考える ことができる	アルゴリズム、変数と代入文、フローチャートの理解
Java基礎	7日 56H程度	Javaの基礎、プログラムの記述を学ぶ オブジェクト指向の特性を理解する	プログラムの基本、変数、四則演算、比較演算子、論理演算子、 型変換の理解 / 配列、制御文の使い方 / クラスやオブジェクト の考え方、コンストラクタ、オーバーロード、クラスの継承、 オーバーライド、インターフェース、例外処理などの理解
SQL基礎	3日 24H程度	SQLの基礎、データベースの役割を理解する	データベースとは / SELECT文、INSERT文、UPDATE文、 DELETE文 / 表の結合、グループ、副問い合わせ、 クエリの結合
Java Webアプリケーション	8日 64H程度	Webアプリケーション、MVCモデルの仕組み理解、 APIドキュメントの読み方、使い方を学ぶ	よく使われるAPIの使い方 / JDBCの理解(データベース アクセス方法の理解) / Servletの理解、JSPの理解、HTML、 JavaScriptの理解 / MVCモデルの理解
Java開発演習1 複数名いる場合チーム実施	17日 136H程度	MVCモデルを意識した設計、 プログラムの作成ができるようにさせる / 仕事の立振舞い (報告・連絡・相談、スケジュール管理など)を実践する	基本設計書を元に詳細設計～結合テストまでを実施 (※ テスト項目書の作成も実施) / FW(Spring)の理解 / Eclipseの高度で便利な開発支援機能に慣れる / 要所でレビューを実施
振り返り、 理解度試験	1日 8H程度	Javaの理解度確認 2ヶ月の振り返りを行い配属後の成長を促す	Java理解度試験 / KPT(研修振り返り)



開発環境

言語 : Java1.8、SQL FW : SpringMVC DB : PostgreSQL APサーバ : Tomcat8.0
ツール : Backlog、Googleworkspace、Eclipse、Eclipse、SVN

通年開講プロエンジニア育成コース | Java3ヶ月コース一覧表

課題	日程	課題目的	詳細
オリエンテーション、 アルゴリズム	2日 16H程度	アルゴリズムを学びプログラムの考え方を理解、特定の問題を解く手順(アルゴリズム)を考えることができる	アルゴリズム、変数と代入文、フローチャートの理解
Java基礎	7日 56H程度	Javaの基礎、プログラムの記述を学ぶ / オブジェクト指向の特性を理解する	プログラムの基本、変数、四則演算、比較演算子、論理演算子、型変換の理解 / 配列、制御文の使い方 / クラスやオブジェクトの考え方、コンストラクタ、オーバーロード、クラスの継承、オーバーライド、インターフェース、例外処理などの理解
SQL基礎	3日 24H程度	SQLの基礎、データベースの役割を理解する	データベースとは / SELECT文、INSERT文、UPDATE文、DELETE文 / 表の結合、グループ、副問い合わせ、クエリの結合
Java Webアプリケーション基礎	8日 64H程度	Webアプリケーション、MVCモデルの仕組み理解、APIドキュメントの読み方、使い方を学ぶ	よく使われるAPIの使い方 / JDBCの理解(データベースアクセス方法の理解) / Servletの理解、JSPの理解、HTML、JavaScriptの理解 / MVCモデルの理解
Java Webアプリケーション実践	11日 88H程度	MVCモデルを意識した設計、プログラムの作成ができるようにさせる / 仕事の立振舞い(報告・連絡・相談、スケジュール管理など)を実践する	製造、単体テスト工程を実施 / Eclipseの高度で便利な開発支援機能に慣れる / 要所でレビューを実施 / Junitの使い方を知る
UNIXコマンド	2日 16H程度	Windows環境以外の環境理解とコマンドの使い方を学ぶ	UNIXコマンド基礎
Java開発演習 複数名いる場合チーム実施	17日 136H程度 + 1日振り返り 理解度試験	MVCモデルを意識した設計、プログラムの作成ができるようにさせる / チーム開発の場合、情報共有、チームコミュニケーションの取り方を実践する	基本設計書を元に詳細設計~結合テストまでを実施(※ テスト項目書の作成も実施) / FW(Spring)の理解 / Eclipseの高度で便利な開発支援機能に慣れる / 要所でレビューを実施



開発環境

言語 : Java1.8、SQL FW : SpringMVC DB : PostgreSQL APサーバ : Tomcat8.0
ツール : Backlog、Googleworkspace、Eclipse、Eclipse、VirtualBox、SVN、JUnit

通年開講プロエンジニア育成コースJava基礎課題例

学習目的

アルゴリズムからきっちりフォローすることでプログラムに対する嫌悪感を解消。
コードレビューによる具体的な指導で「読みやすいプログラム」を書く習慣が身につく。

研修内容

弊社独自の Web テキストを用い、プログラミング演習理解度を確認するために小テストを実施
※3ヶ月コースは2ヶ月コースより時間をかけて指導します

```
Connection connection = null;
PreparedStatement preparedStatement = null;

try {
    Class.forName("org.postgresql.Driver");
    connection = DriverManager.getConnection("jdbc:postgresql://localhost:5432/lessondb",
    String[] shohinId = { "030", "031", "032" };
    String[] shohinName = { "SHOHIN030", "SHOHIN031", "SHOHIN032" };
    int[] tanka = { 3000, 3100, 3200 };

    String SQL = "INSERT INTO TB_SHOHIN (SHOHIN_ID, SHOHIN_NAME, TANKA) VALUES( ?, ?, ? ) ";
    preparedStatement = connection.prepareStatement(SQL);

    int result = 0;

    for (int i = 0; i < shohinId.length; i++) {
        preparedStatement.setString(1, shohinId[i]);
        preparedStatement.setString(2, shohinName[i]);
        preparedStatement.setInt(3, tanka[i]);

        result += preparedStatement.executeUpdate();
    }

    System.out.println(result + "件登録しました。");
} catch (ClassNotFoundException | SQLException e) {
    e.printStackTrace();
} finally {
    try {
        if (preparedStatement != null) {
            preparedStatement.close();
        }
        if (connection != null) {
            connection.close();
        }
    } catch (SQLException e) {
        e.printStackTrace();
    }
}
```

アルゴリズム

フローチャート

線形探索

ソート

Java

クラス

コレクション

MVCモデル

PostgreSQL

SELECTなど

テーブル結合

サブクエリ

Java基礎面のみの研修となるため、自社サービス・受託開発中心の企業向けです。

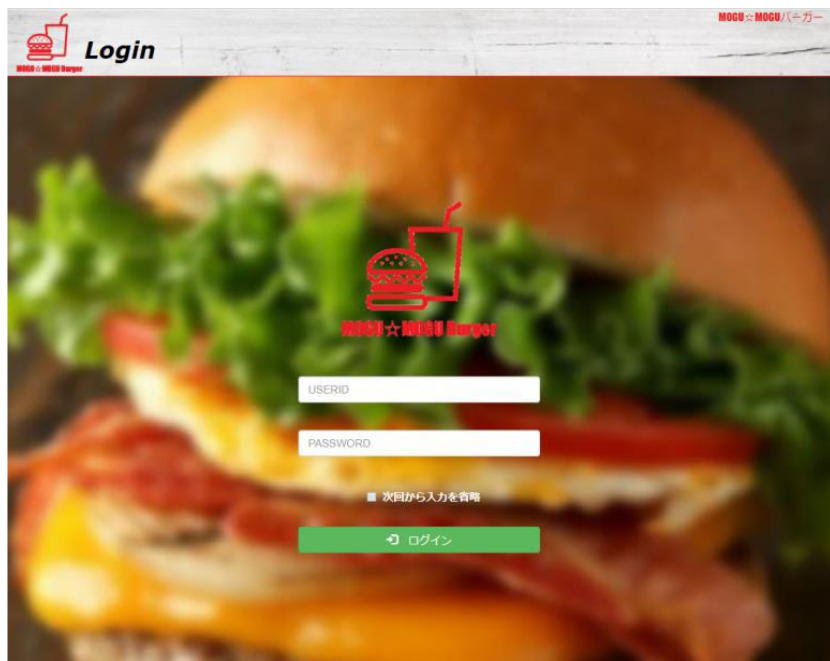
通年開講プロエンジニア育成コース開発課題例

学習目的

システム開発の体験。※ 2、3 ヶ月コース限定。受講人数により個人・チームと人数が変わります
Spring Frameworkの使用。※ 最終日に理解度テストと振り返りを実施

研修内容

Java基礎 + 弊社独自の開発課題(詳細設計～結合テスト)を用い、社内向け簡易ニュースサイトを作成
開発課題は1人1機能を担当します



Spring Framework

DI(依存性注入)

入力チェック

Spring Security

仕様書

UML図読取

単体仕様書作成

結合仕様書作成

レビュー

処理仕様書

単体テスト仕様書

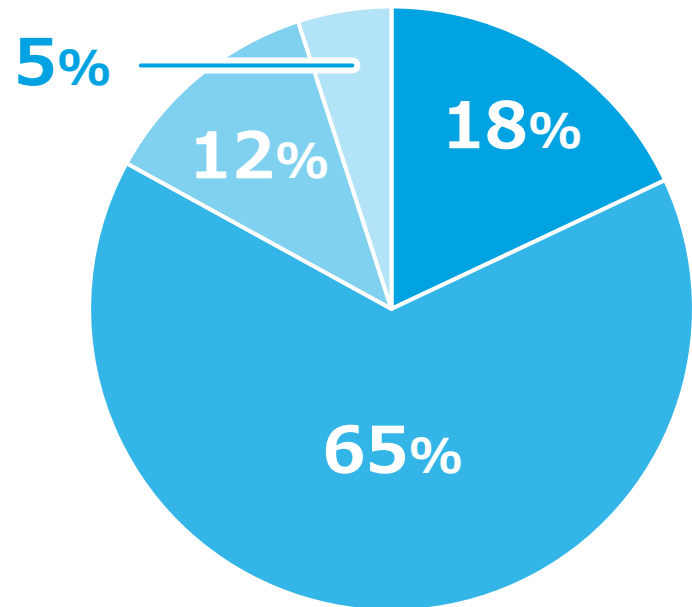
コードレビュー

結合テスト仕様書

技術面だけでなくビジネス面も習得可能です。異業種からの転職者におすすめです。

受講に関するアンケート調査

Q. 研修前と研修後で仕事に対する意識が変わりましたか？



- 意識改革があり、180度変わった
- 仕事に対する意識が変わった
- 少し変化がある
- あまり変わらない

言われたことをやればいいやという考えが今まであったが、自主的に行動していかないとスキルアップは望めないことがわかり、今後は積極的に行動していきたいと思った。

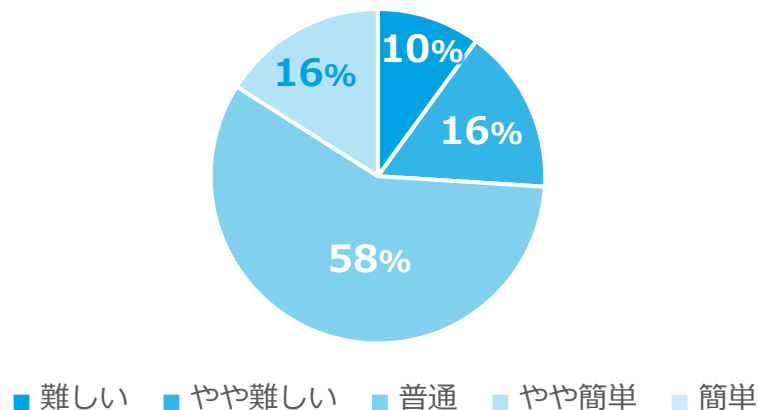
納期に対する意識が変わった。
また、納期を守るために業務中の報連相の重要性が研修前より理解できた。

わからないことを考えて時間を無駄にするぐらいならわからないことを質問するための整理をするなど、考え方を考える努力の必要性があることをこの研修を通して学んだ。

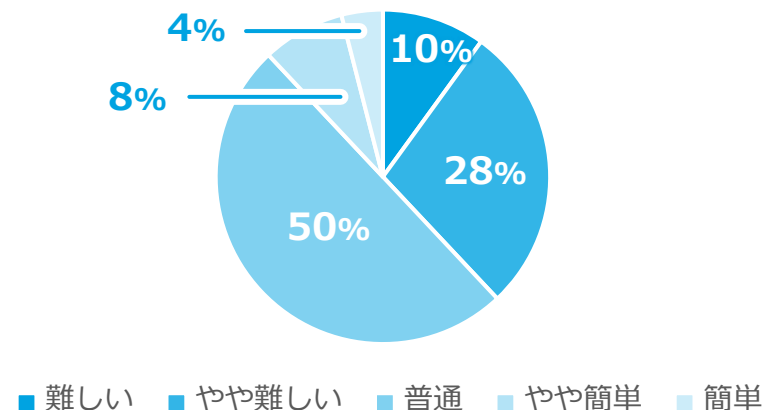
ただコードを書くだけではだめだと本当に思いました。
今後レビューが少し不安になりました。

受講に関するアンケート調査

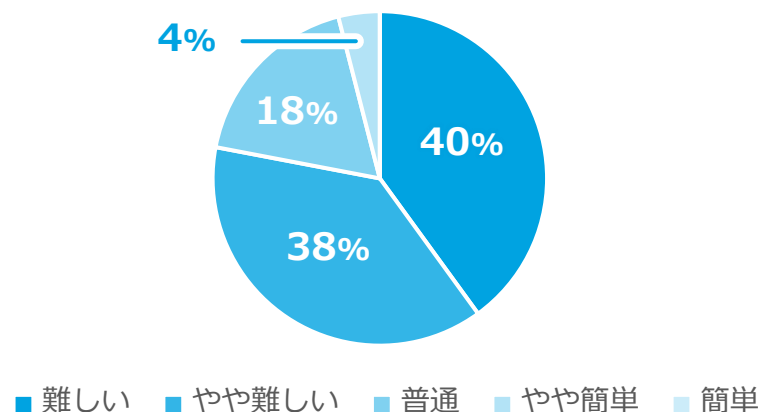
Q. アルゴリズムテキストの難易度はいかかでしたか？



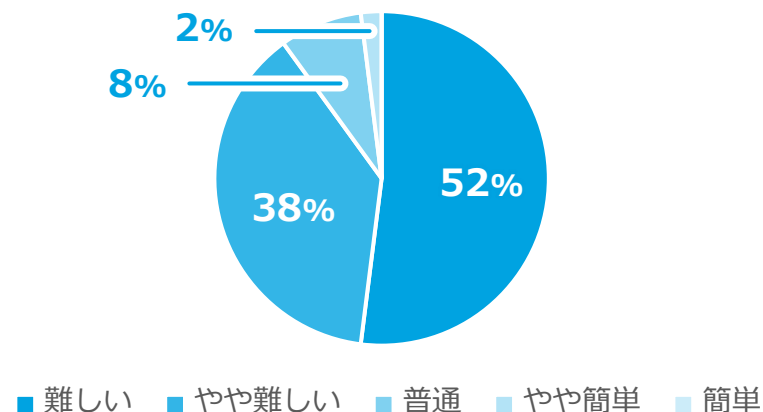
Q. SQLテキストの難易度はいかかでしたか？



Q. Javaテキストの難易度はいかかでしたか？



Q. Java開発課題の難易度はいかかでしたか？



研修体制（通学・オンライン共通）

研修期間

通学・オンライン共通

1ヶ月コース

約**19日**・約**150時間**

2ヶ月コース

約**38日**・約**304時間**

3ヶ月コース

約**60日**・約**480時間**

※ 月の営業日数により受講日数、時間に変動があります ※ 研修開始日と貴社の予定が合わない場合、研修スケジュールの調整も可能ですのでご相談下さい

研修時間（営業時間）



平日 1日 8時間

9:00～18:00（休憩 12:00～13:00）

※ 自社の勤務時間が1日8時間未満の場合、事前にご相談下さい

※ 土日祝日はお休みです

研修講師



全員ジョブサポートの社員で講師としての
教育訓練を積んだ、現役の開発系エンジニアです

研修体制（通学）



勤怠管理

社内システムにて毎日の出勤、退勤、日報を管理します
※勤怠不良が明らかに目立つ場合、ご相談させて頂いております



PCについて

通学の場合、1人1台ノートPCを貸し出します



受講見学

管理者の研修中の受講見学については、事前予約の上、1社2名様まででお願いしております



感染症対策

研修フロアに入る時の手消毒、マスク着用のご協力をお願いしております
講師、受講者で感染者が発生した場合、一時的にオンラインに切り替えて受講を進めます
※37.0以上の発熱、少しでも体調が思わしくないと感じられた場合、出席の見送りをいただいております

研修体制（オンライン・リモート）

受講者の勤怠管理

出席確認

研修開始時に1日のスケジュール提出



退勤確認

18時までに日報提出して退勤扱い

貴社でご準備いただく物



PC

OS：Windows10・メモリ4G以上・カメラ付き推奨
※用意が難しい場合、一度ご相談下さい

※ Win11・OSがProの場合、研修受講に支障が生じる可能性があります



ネット環境

ビデオ会議(GoogleMeet)ができる速度回線が必要です

※ 会社に出社して受講される場合、社内ネットワーク環境、セキュリティルールを事前にご確認ください

Webカメラテスト、研修開始説明



研修受講日の2営業日前までにWebカメラテスト、研修開始説明（1時間程度）を行いWebカメラの疎通確認を行います

ジョブサポートから貴社への提出物（通学・オンライン共通）

週報



毎週月・火で週報を管理者サイト(Backlogの貴社専用プロジェクト)へ提出

1週間が2営業日以内の場合、翌週の週報とまとめて報告



講師の作成した研修理解度、進捗状況、ヒューマンスキルなどの成長度合いを報告

週報は助成金申請の書類として使用する事ができ、申請資料の効率化に寄与します / 受講者の受講状況により、研修のゴールを調整いたします

研修修了報告書



研修終了後、受講者の研修総括を作成

技術理解度、ヒューマンスキル、講師から見た育成アドバイスを報告。研修終了後に実施する打合せでも詳細をお伝えしております。

助成金申請サポート資料 人材開発支援助成金を活用する場合

※ その他必要な書類がある場合、事前にご相談下さい

計画・支給申請資料

見積書・研修スケジュール

研修カリキュラム表紙

研修費の領収書
研修受講費の入金を確認後に作成

通信ログ（TV 会議、チャット等）
オンライン・リモート講座受講者のみ

勤務表
オンライン・リモート講座受講者のみ

受講お申込みの流れ

オンライン受講の場合、研修開始2営業日前までにWebカメラテスト・研修開始説明を1時間程度行うため、調整のご協力をお願いします。



人材開発支援助成金を活用される場合、開始1ヶ月前までの計画申請が必要になります。
お早めにご相談ください。

研修費用

研修費用

通学・オンライン共通

Java1ヶ月コース

200,000円(税別) / 名

Java2ヶ月コース Java基礎1ヶ月＋開発演習1ヶ月 (FW・Spring使用)

400,000円(税別) / 名

Java3ヶ月コース Java基礎2ヶ月＋開発演習1ヶ月 (FW・Spring使用)

600,000円(税別) / 名

※ 月途中から受講参加の場合も上記金額の請求となる点、ご理解下さい

研修費用のお支払いについて



研修終了日を締日として、翌月末払い。

例：研修が6月末で終了の場合



7月末払い

中小企業の場合、助成金を活用すれば自己負担を大幅に抑える事が可能です。

人材開発支援助成金(人材育成支援コース)

助成率 ※1名辺りの研修費用の補助率、1時間辺りの人件費助成

通学・オンライン共通

経費補助
(中小企業/大企業)

45% / 30%

賃金助成
(中小企業/大企業)

800円 / 400円

有期契約労働者の場合
(経費補助/賃金助成)

70%/800円

中小企業の定義 ※A、Bどちらかを満たすと中小企業。満たさない場合、大企業扱いで助成率が変わる

主たる事業	A 資本金の額または出資の総額	B 企業全体で常時雇用する労働者の数
小売業（飲食店を含む）	5,000万円以下	50人以下
サービス業(IT企業含む)	5,000万円以下	100人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
その他の業種	3億円以下	300人以下

ジョブサポートでは計画申請・支給申請の資料作成サポートも行っています。

導入事例 | 株式会社紀文フレッシュシステム様

物流・ITコンサルティング

~500名

受講コース | プロエンジニア育成コース(JAVA2ヶ月コース)、フロントエンド5日コース



『プロジェクトにおける業務の進め方』にも
重点を置いた研修が秀逸。

報連相と進捗管理が身に付いているため、
先輩が手取り足取り教える必要がありません

紀文フレッシュシステム様の受講事例詳細は下記

<https://www.job-support.ne.jp/blog/cs/interview001>

Q. 答えを教えない研修は厳しそうで心配です。未経験でも対応できるのでしょうか？

20年以上未経験者を中心に答えを教えず発見させるスタイルの研修を行っており講師が答えにナビゲートもするためご安心下さい。
受講者の約8割程度がプログラミング未経験でPCやファイルの使い方から学ぶ人も多くスタートラインがバラバラでも教育可能です。
弊社のシステム開発部も9割以上が未経験者で入社しており同じ研修を受け開発に関わっています。

Q. 業務実践型とは何ですか？

集合型と個別指導型の研修の良い部分を取り入れた受講スタイルです。
研修は演習ベースで課題を進め、講義、グループワークなども含め、1人1人に向き合った質の高い指導を実現しております。
研修の質を担保するため現在講師1名が受講生の上限を～10名までとしております。

Q. いつまでに申し込みを済ませたら良いのでしょうか？

助成金を活用される場合は計画申請など準備期間が必要になるため研修開始1ヶ月以上前にお申し込みが必要です。
活用されない場合、通学研修2週間前、オンライン・リモート3週間前を目安にして下さい。
お急ぎの場合は担当営業に一度ご相談下さい。

Q. 助成金サポートは行ってますか？

計画申請、支給申請の資料作成をサポートしてます。詳しくは担当営業にお問い合わせ下さい。

Q. ノートPCは用意していただけるのでしょうか？

通学研修では弊社でノートPCを用意いたします。

オンライン・リモートの場合、貴社で準備が難しい場合一度ご相談下さい。

Q. 通学研修の見学は可能でしょうか？

担当営業にご連絡いただければ調整可能です。受講者がいるため社内の撮影はご遠慮下さい。

Q. 研修の開催時期を教えてください

4月開始の春季研修、7月～翌年2月開始まで通年で研修を開講しております。

新卒者だけでなく中途採用者の教育も対応させていただいておりますのでお気軽にご相談下さい